



令和8年9月1日
有松まちづくりの会

有松まちづくりの会部長会 (8月18日)

12月に行われる第49回全国町並みゼミ松阪大会の概要が説明され、有松まちづくりの会の研修として会員にも参加を呼び掛けることとなりました。

(基調講演は12月12日(土)、まち歩きや中濱会長も登壇する分科会は13日(日)、各地見学会は14日(月)に実施されます)

東海道沿いの景観の向上のため「有松らしさ」を明文化していく必要があるのでは、と意見が出されました。



まちの風景 風鈴

若い感性を生かしたい! (6月20日・7月10日)

～ 椋山女学園大学生が有松の観光プログラムを提言 ～

椋山女学園大学の現代社会学科「観光まちづくり論」(阿部純一郎教授)の受講生の皆さんが6月20日有松で現地学習され、7月10日大学での成果発表で**有松の観光プログラム**を提言されました。

現地学習では、岡家住宅で歴まち課の吉田さんから有松の観光の現状についての話を聞きました。のち、有松あないびとの会の案内で「絞り」「町並みの歴史や建物」「まつり」「東海道周辺部」などとテーマを変えて歩かれました。それを踏まえての成果発表会は、歴まち課、有松あないびとの会の担当者も聴講。5グループの発表はいずれもAIを駆使しての鮮やかで印象的なものでした。有松での体験を取り入れ、再訪を促す工夫や採算性を提示した観光プログラムで、和やかな中にも緊張感や真剣さが感じられるものでした。若い皆さんが考えてくださった素晴らしいプログラムが実施されることを願ってやみません。



有松で新人研修会 (7月26日)

NPO法人東区文化のみちガイドボランティアの会

この3年程に入会した新人10名が参加。東区では館内ガイドが中心だが、近年区内全域にガイドエリアが広がってきている。言わば**「ルートガイドのコツ」**を学ぶ研修のようだ。重厚な建物が並ぶ東海道沿いだけでなく、藍染川流域や小路と呼ばれる生活道路・古道の長坂道沿いなど通常の案内では通らないエリアも歩いていた。絞りのまちの痕跡が方々にあることに気づかれたようだ。



寄稿 有松山車まつりの魅力

初めて有松の山車まつりを見た際に最も驚いたのは、お祭りに携わる人々が絞りの衣装を身に纏っていることである。その衣装を見れば、その人がどの町の、どの山車に携わっているのかが一目瞭然である。衣装には山車に由来したデザインが組み込まれているので、お祭りに来た際には山車だけでなく、衣装にも着目していただきたい。

そして、意外と知られていないのが、有松の山車まつりは来場者も一緒に山車の引き綱を引っ張っておまつりに参加できることだ。3輦の山車（東町布袋車・中町唐子車・西町神功皇后車）の綱につながっていただき、おまつりの一日を存分にご堪能していただきたい。

また、その際は引き綱につながりながら、有松の空を見上げて欲しい。伝統ある町並みと山車、そして、電線のない秋の空が広がり、ほかにはない歴史情緒ある景色を全身で受け取っていただきたい。

ズバリ！有松山車まつりの魅力はコチラ！ 詳細は右のQRコード⇒



- ① おまつり関係者の衣装が絞りでであること。
- ② 来場者も山車の引き綱につながっておまつり参加ができること。
- ③ 電線を地中化しているので、美しい町並みとともにおまつりの景色を堪能できること。

訪問 中町年行司を訪ねて (8月8日)

この日、東丘小4年生8人と保護者の方が風鈴と七夕短冊づくりに励んでいた。同学年のお友達同士、さながらサマースクールのようなのである。あるお母さんは「夏休みに友達と工作したりおしゃべりしたり…このような時間が持ててよかった、楽しかった」と。子ども達も「柄を決めるのが難しかった」「好きな龍を描いた」など様々な感想が寄せられた。完成できるよう、大人が丁寧に作り方を教えていたのが印象的。ものづくりだけでなく、年行司に併設された中町山車庫の唐子車も見学した。

地元のおまつりに興味を持ってもらうこの様な取り組みが少しずつ広がりを見せていることを知り、嬉しい気持ちにさせられた。



知っていますか？

中町年行司では唐子車が見学できます。山車会館の展示と違い、幕やからくり人形はありません。でも、かつて内海で廻船業を営む豪商前野家が制作に関わった唐子車のすごさを感じられます。外輪の輪掛けには青貝が散りばめられた螺鈿細工(らでんざいく)が施されています。また、真近で見ることができするため、山車の大きさを実感できます。案内は川勝尚子さん等。

中町年行司が開館しているとき(不定期) 寄ってみてください。

螺鈿細工



神功皇后車・唐子車
布袋車(いずれも2024年)

有松絞伝統文化親子教室2026(8月11日)於:竹田家住宅

主催 NPO法人コンソーシアム有松

有松を総合的に学ぶ稀有の企画である。文化庁の「伝統文化親子教室事業」で参加者は緑区内から周辺へと広がりを見せている。内容別に3コース。90分の絞り体験は共通、60分のまち歩き・建物見学・歴史講座のいずれかを選択。各18名ほど。

絞り産業だけでなく、そこから醸し出される伝統文化を深く学ぼうとの企画であり、右写真の36pテキストが意気込みを示している。小学生にはやや理解が難しい点もあるが、講師の方の工夫が随所に見られた。



テキスト 絞り体験 (上)三番蔵(下)早恒染色

【絞り体験】 久野剛資さんの指導で小ぶりの布バックを

制作。主に割り箸を使って、各自思い思いに布を折りたたんだりギュッと塊にしたりして糸で固く括る。のち、三番蔵から早恒染色へ移動し染めた。

【まち歩き】 親子別々で見学。ガイドは有松あないびとの会の六鹿晴美さんと加藤明美さん。子どもの案内では、「最初に有松にやってきたのは何人？」クイズを出したり浮世絵制作が学べるスタンプ押しなど体を動かしたりの工夫が見られた。大人向けでは、屋根に据えられた鍾馗さんを探すなどまちの隅々に関心を向けるようにしていた。



↓建物見学 ↓歴史講座 ↑まち歩き ↑浮世絵スタンプ

【歴史講座】 竹田嘉兵衛さんが豊富なスライドを見せながら、有松と絞りの歴史を紹介されていた。辻が花の話は興味深かった。



【建物見学】 野口和樹さんの案内で、なまこ壁など江戸から明治の建物の特徴を学んだ他、枯山水庭園も詳しく説明されていた。

特に栽松庵では竹田さとみさんから茶室のつくりの説明とともに、掛け軸(加茂季鷹の歌)の詳しい説明もあった。

栽松庵で記念撮影

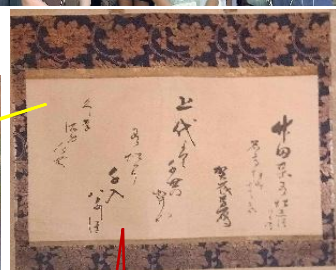


文芸と有松 第3回 加茂季鷹 (かものすえたか) 伊藤総俊

竹田家住宅の茶室に加茂季鷹の歌の掛け軸がある。

「竹田それがし有松絞りの名高きをききて」の後
『上代(むかし)より 千世の契や 有松に
千しほ八千しほ くくりそめけん』

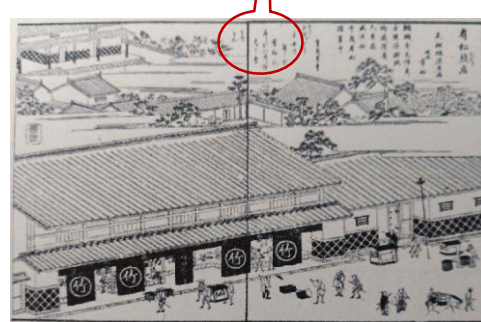
解説: 大昔から続く業 繰り返し幾度も染めていく
有松の絞りだよ



尾張名所図会

江戸後期に加茂季鷹(1754~1841)が竹田庄九郎家に立ち寄った折に詠んだと言われている。尾張名所図会の有松絞店にこの歌の記載あり。

加茂季鷹は江戸後期の国学者。京都生まれ。上賀茂神社の祀官(神主)である。少年期から有栖川宮職仁(よりひと)親王に歌道を学び、歌人として有名。雲錦亭(うんきんてい)と名付けた別荘は文化サロンとして機能し、本居宣長など訪問客が絶えず。指折りの蔵書家で、季鷹が収集した大量の典籍は残され、近年京都市の文化財として指定された。



なお、中濱商店前にも加茂季鷹のこの歌の歌碑がある。東海道の町並みに何か詩情をと思い、中濱郁雄さん(中濱豊さんの父)が平成16年に設置された。

笹加 夏のお楽しみ会 立川志の八独演会

(7月26日) 於:竹田家住宅書院

近年、有松では落語会がよく開かれる。暑さが続く中
夕涼みを兼ねて覗いてみた。他の会との違いは、落語の
後でお食事があること。お弁当とちょっぴりのお酒。

演者 立川志の八の特徴はちょんまげ姿だ。4年前から
自毛で結っているとのこと。東海道中膝栗毛を模して、
落語を披露しながら旅を続けている。有松はちょんまげの似合う町！何とか有松で落語を
披露したいと、この日の独演会が実現した。下見の折、購入した絞り浴衣の披露会でもあ
るようだ。そんな志の八の背中を押すように、会場には30名を超える方々が集まっていた。



NHKあさイチ 街並みが美しい有松で大人気 女性の職人 生み出す 注目の工芸品 (7月23日)

この10年、ポップな有松絞りがぞくぞくと登場し人気
高まっている。それを生み出した女性の職人さん取材し
た番組が放送された。紙面で紹介したい。

ももとの有松絞りの特徴は、深い藍
色を主として染められた繊細な模様。職
人が糸で布を一つ一つくり、染められ
ている。高級な浴衣等に使われてきた。

「身近なところで使うようにできな
い、時代に合ったカラーや柄で」と伊藤
さん。「表面に凹凸を付けた商品が大人
気。肌に生地が張り付かなくて涼しい」
とは今井さん。伝統のものを進化させ
たのは大須賀さんも。蛇腹折りした布をく
くり、染める工程が紹介された。

「職人を20年続ける中で、危機感を強
めている伝統の技法を後世に残したい」との想い。「多くの先輩に会い、
その技を受け継いでいきたい」とも語っていた。



職人 伊藤木綿・村口実梨



職人 大須賀 彩



デザイナー 今井 歩



催事・行事予定

東陵中学校 藝術文化探求部

9月4日～6日 10:30 藝探展 川村家東蔵・岡家住宅(5,6日) ↓

9月18日(金) 18:30 有松まちづくりの会部長会 有松コミセン

9月19日～12月6日 秋の有松めぐり(名鉄キャンペーン)

9月20日(日)有松絞親子体験教室 2026 (第1回) 申中居 NPOコンソーシアム有松

9月25日(金) 18:30 有松まちづくりの会役員会 有松コミセン

9月26日(土) 16:00 トワイライトJAZZライブ 寿限無茶屋 有松町家ライブ

9月27日(日) 7:30 かえて道清掃 有松まちづくりの会 実行委員会

9月28日(月) 18:00 有松町並み相談会 有松コミセン

発行者 中濱 豊(有松まちづくりの会 会長)

編集者 加藤明美(有松まちづくりの会 広報部長)

pegasusb@mc.ccnw.ne.jp 取材・撮影 伊藤総俊

有松まちづくりの会は新規会員を募集しています。(年会費1000円)

詳しくはホームページ又はお近くの会員までお問い合わせください。

有松まちづくりの会はホームページを公開しています。「有松のまち」で検索。

「有松かわら版」をカラーでご覧いただけます。

スタジオでも紹介された
手ぬぐい
ストール・バッグなど

進化した有松絞り!

